いわき民報

平市田町四八 電話三八一番
編輯兼發行人兼印刷人 千輝克巳
日刊 但月曜を除く
定價一ヶ月四十円 一部一円五十錢
發行所 いわき民報社

木村守江氏擁立へ

市郡教育委員會候補

去る二十六日四倉町木村守江醫師を始め平市内木宗六醫博、小名第一小學校長高木長年の三氏を教育委員候補者として互に推薦、遂にまとまらぬまゝに解散した郡下P、T、A、役員連合會及び平P、T、A、役員會の會合懇談會は一日午前十一時から磐女高校に相互の連絡委員二十四名が合同、市郡一丸となつて一名の候補を推し万全を期すべく種々折衝の結果、結局四倉町元縣議木村守江氏を推擧することに決定、直に市郡双方から三名ずつ左記六氏を交涉委員にあげ、木村氏の出馬を交涉することにした

◇石城郡神谷市郎、駒木根忠三、坂本惣次郎 ◇平市新妻熊男、矢吹龜作、新家芳美

小名濱老夫婦殺し

兇惡な物盜りの仕業か

タンス等物色の跡歴然

【昨報】小名濱町住吉字岩出農大和田爲五郎さん（七九）及び妻シンさん（七五）の老夫婦慘殺犯人逮捕に重要なポイントとみられている孫の十四雄君は生來愚鈍でやゝ不良性をおびており小學校も中退して一時は三男春夫さんのもとに桶屋を手傳つていたが三男も手を燒き祖父の爲五郎さん方に預けたものであるが、十六歳の今日もなお寢小便をする等で三疊の納所に寢起していて常に老夫婦の叱責のまととなつていた模樣であり、かつ全家の庭先や屋内のあし跡またはタンスなどの物色の手口から見ても家内の事情にくわしいもののしざわと見られる點などから十四雄少年を手先とした二人乃至三人の仕業と見られている、なおこの部落は鹿島坑にちかいためか、とかく不良の横行がはなはだしく、おそらくそれ等の不良がして侵入し氣丈な老夫婦がさわいだために殺したものとみて署では常日頃十四雄少年をとりまいていた不良仲間關係を洗う一方問題の十四雄少年の行方を追及している、なお湯本町青葉にすむ炭燒の四男三浦榮久（三三）も重要嫌疑者として調査の對象となつている模樣である

複雜な家庭

爲五郎さんの家族は六人の子供の内死んだ娘二人の他長男一さん（四七）は横濱市三省堂工場の活字鑄造工次男竊之助さん（四四）は伊勢崎市に三男春夫さん（四〇）は桶屋で磐崎村下湯長谷に、又四男三浦榮久さん（三三）は湯本町青葉に炭燒をしている等二十年來の不和で皆、親もとを離れて別々に生活をしているなど相當複雜な家庭で最近は爲五郎さん夫婦と、先年死んだ長女櫻井ヒデ子さんの長男十四雄君（一六）の三人で住んでいたものだがその孫十四雄君は四、五日前から東京に行くと稱して出た爲、老夫婦二人だけのさびしい生活であつた

被害者は 雷爺さん

元氣で短氣者

殺された爲五郎さんは七十九ずの老人とは見えぬ程元氣でその所有田地五反五畝と畑一反三畝程を誰の手も借りず殆んど獨りで耕作していた、慘劇の其日も夕刻七時頃迄仕事をしていたのを近所の人がみかけていたが、性質は極めて短氣らしく雷爺とまでいわれていた

布團でスマキにされて

この事件が發見されたのは三十一日朝八時頃全部落の農山野邊アヤ（二八）さんが配給の馬鈴薯の通知に寄つた處、普段は早起きなのに雨戸も締めてある不審な形跡に裏からのぞいた處、老夫婦が布團につつまれて荒縄でしばられている模樣に驚き駐在所に報告小名濱鈴木署長立合いで戸をあけた處、無慘や爲五郎さんは六疊の間に夫々裸体で布團にス巻きにされそれを荒縄で、まるで俵をつゝむ樣頑丈にしばられてあり二人共猿ぐつわをかまされ扼殺された如き凄慘な最後をとげていた、不思議な事に爲五郎さんの足をしばつた荒縄が約一間の土間をはなれてグッと伸びて台所にむすびつけられてあり係官も其の慘虐さに驚いているなお爲五郎さん宅は湯本―小名濱街道から北に約二三町程入つた丘の麓にあり、近所には四、五軒の農家が散在する寂しい部落で慘劇のあつた當夜は十一時頃犬の吠聲があつたのみで別にさわがしいもの音は聞かなかつたと近所の人は語つている

各署連繫 捜査

きのう關係者實地檢證行う

急報に三十一日午後三時平地檢より宮後檢事及び安藤判事その他平地區署柴田次席、平自治署金田司法主任を始めとして湯本署からも係官が現場に急行するなど、相次ぐ殺人事件連發に人心が極度に緊張を示している際とて早急に犯人を逮捕すべく小名濱署を中心として各署が緊密な連繫の下に捜査を開始することゝなつた

十二名が復歸

殘る十名とも一日連絡つく

小名濱郵便局の集團職場放棄は二十二名のうち順次復歸者が出て今一日現在で次の十名を除くほかは正常通り出勤した、井上局長の話ではこのまだ復歸しない缺勤者十名の動行は一切不明で連絡がついていないとしているが同局全遞支部ではこの十人は何れも明二日までに復歸するように連絡ついたと言明している

電話課 二瓶光子（二〇）
庶務課 鈴木ヨシ子（一九）
電話課 小名山右京（二九）
郵便課 大浦弘之（二〇）
保險課 片寄昭夫（二二）
電話課 添田武雄（一九）
貯金課 山崎キヨ子（二二）
庶務課 櫻井房陽（二三）
郵便課 鈴木二郎（二三）
電話課 鵜沼進（二一）

保安調査の日程決る

中野早大教授が團長に決定さる

政府では先に常磐地方の炭礦保安調査團を派遣すると發表していたがこの程メンバーも確定、中野賓氏（早大教授）を班長に班員四名と明二日午後一時二十分來平、古河好間炭礦を三、四、五の三日間常磐炭礦を六、七、八の三日間高萩炭礦を九、十、十一の三日間それぞれ保安關係に關する現物指導並に調査を行うが平石炭局側からは伊藤保安課長外係官數名、なお商工省礦山保安部からも係官が出張することになつている

競技場設置 遂にお流れ

きのうの小名濱町會議論百出で

小名濱町の總工費百八十万円今明兩年度繼續事業として計劃された町營綜合競技場設置案は三十の町會で議論百出遂に町當局の手に撤回され結局實現は夢と化した

市教育課に映寫機常備

例の進駐軍寄贈の十六ミリトーキー

市教育課では今度進駐軍から縣へ寄贈された十六ミリトーキー映寫機のうち一台を市の公民館に備付けることになつたので目下映寫技師を入選中である、このトーキー機械は先に磐女高校講堂で開いた社會教育大會に使用してその優秀さを紹介済みであり到着後は平市を中心とした郡内各地に出張しリクレーションなどに利用されることになる

國際電球燒く

工場全燒事務室等を半燒

三十一日夕六時五十分ごろ市内新川町國際電球株式會社（社長園部義雄（五二）氏）工場風呂場から發火、二階建の工場（七二坪）一棟を全燒したのを始め事務室、宿直室、試驗場等二棟を半燒七時半鎭火した、原因は目下市署で調査中だが風呂場の煙突の飛火らしく、損害約三百万円に達している

公務員法に反對の結果

小名濱全遞支部談

右につき小名濱局全遞支部では次の如く語つた

今度の職場離脱は何れも慰勞休暇をとつておりあくまで國家公務員法に反對するため情熱の結果とられた行動である、未復歸者十名は自主的に計劃をたて全遞福島地區本部の遊說班に加はり同法反對のため同地域で遊說中であつた

火災豫防展開く

資料は米軍政部から提供

縣主催の火災豫防展覽會が二、三兩日平警察署の會議室に開催される

この展覽會はアメリカ軍政部の提供に成る「都市計劃と日本の火災原因」を解說した得難い參考資料であり小學生にも判るように簡易な說明をつけてあるから多數市民の來會を觀迎する 入場無料

電線ドロの余罪ばれる

去る二十五日夜十時ごろ、常磐炭鑛資材倉庫から電線を盜む處を發見され現行犯で内鄉署に捕えられた、赤井村西澤生れ住所不定無職品田學茂（二三）は更に八月五日ごろも全倉庫からラヂオ一台、布八枚を盜んでいた事も發覺した

ヘレンケラー募金

市社會課ではヘレンケラーキャンペン社會事業基金の募金を各民生委員を中心に一戸五円以上として二十三日まで運動を起す、これによつて市では三万円の募金を豫定している

一等は樋田君

久ノ濱町桐木原不動尊の豐年祭假裝盆踊大會は三十一日行われたが樋田明君が一等となつた

性病の治療費稼ぎ

内郷町綴字堀坂無職後藤孝彦（二〇）は性病の治療費に窮して去る六日夜九時ごろと十時ごろの二回にわたつて全町白水字大神田採炭夫酒井留五郎さん方から軍服上下開襟シャツ並にゴム長靴など計四點を盜んだ事發覺、二十九日内郷署本田刑事に捕われた

久ノ濱諏訪神社の祭禮

久ノ濱町諏訪神社の祭禮は三十一日行われたが大工組合、船大工、海洋青年團全少年團等大小五台の屋台も出て賑つた

いわき寸言

◆民主化の聲は高いが未だ民主化の實をみず―空念佛とはこのこと

◆語つただけでは腹はふくれず、むしろものいはぬこそ腹ふくるゝわざといふべし

◆ものいえば脣寒し、長いものにはまかれろ、こんな世の中が現世ですかナ

醫藥用、化學用其他硝子製品一式
新星藥品工業株式會社
平市田町 電七一四番

機械と工具 プーリ、メタル、シャフト
平市四マルトモビル
佐藤鐵工販賣部
電七三一・本社三六二

獵奇 趣味家待望の特種文獻
資料寫眞其他趣味品分讓します
詳細說明書切手拾円でお送りします
岡山縣玉野市玉城山町二
不二書房

大谷石 良品
野澤石 廉價
平市五丁目電六六
井上貞次郎商店

▽女店員募集
年齡 十八才以上―三十才まで
委細面談至急募集致します
小名濱町上町一九
ウララ

ミシン
優秀各種
販賣・修理・部品
平二丁目安田銀行向側
石川商會ミシン部

秋の野球シーズンを迎へて
東都六大學の雄
專修大學來る
一、日時 九月五日（日曜日）
一、場所 平市營球場
◇第一試合（十時） 專修大學對平クラブ
◇第二試合（十二時） 專修大學對常磐炭鑛
一般會員券三十円 學生二十円
主催 常磐炭鑛野球部
後援 磐城スポーツ連盟

内科 外科 小兒科 レントゲン科
金成醫院
平市鍛田町電八二六
院長 醫師 諸橋一郎

出火おわび
當工場の火災に依りまして市民の皆樣をお騷がせし御迷惑をおかけ致しまして申譯無く、深くおわび申上げます。
早速お駈けつけの上消火に御盡力下さいまして有難とう御座いましたおかげ樣で他に類燒を免れましたことを重ねて厚くお禮申上げます
平市新川町八番地（電話三番）
國際電球株式會社
社長 園部義雄
假事務所 新川町六番地 松崎硝子製作所內

近火御見舞御禮
三十一日午後七時ごろ國際電球工場の火災に際しましては、早速お駈けつけお見舞いを頂きまして厚くお禮申上げます
混雜のため御尊名伺い洩れもありますので紙上を以てお禮申上げます
平市新川町六番地
松崎硝子製作所 松崎菊三郎
丸長商店 松崎長三郎

近火御見舞御禮
この度の近火に際しましては早速お見舞いを戴きありがとう御座いました
御尊名のお伺い洩れもありますから紙上を以て御禮申上げます
平市新川町三六番地（電八一九）
株式會社 常磐ヤンマー商會
社長 新妻良平

近火御見舞御禮
平市新川町（順不同）
谷屋呉服店 電話四三七番
鹽疊店
鈴木製綿店 電話四二一番
田中宣治 電話五六七番
山崎造花店
伊勢屋 阿部英造

近火御見舞御禮
平市新川町（電話六九六）
平青果物荷受組合
石川屋青果物店
國井一美

端境期の配給圓滑化に

食糧配給公團と民生委員ら懇談

廣く消費者からの聲を聽いて今後の配給業務の運營に資そうと市配給課並に食糧配給公團平支所では三十一日午後一時より本社ホールに民生委員や在平記者クラブの出席を求め配給懇談會を開いた、特に九月は端境期で主食配給のもつとも難かしいときなので今後の見透しにつき冒頭片寄公團支所長より九月の配給見透しは米十三日分、麥七日分（パン、干麺も含む）砂糖五日分、馬鈴薯五日分として計畫をたてゝおりこの端境期を切拔ければ今年は十月二十日に會津から新米が到着する豫定だと說明あり關場市配給課長を司會者に推し懇談に入り同四時半終了した、以下はその要旨である

配給所の配置替せよ

分割配給や投書箱の設置も

消費者側の聲

先づ消費者側の聲として現在の配給所は地理的に見てかへつて遠いところへわざわざ受配にいかなくてはならないところもあり不合理な點もあるから是正すべきでありまたこの席上で回答される幹部の人たちの所謂消費者に對し思いやりのある氣持ちがちつとも各配給所には反影していないのはどういう譯か、縄、俵、かますなど使用濟のものはどんな風に處理しているか、現在の配給量でカロリーは一体どの位なのかと說明を求め更に周知徹底の點で缺けている嫌いがあり甚だ遺憾であるとし殊に記者クラブ側から現在市民にとつて配給お知らせはもつとも關心が集められており新聞社側ではいつでも配給品の周知には配給欄を開放すると申出ているのにどうして積極的に利用していないのか、市民の眞の聲を聽くためには投書函を設け民主的な方法でこの開閉函などをすべきであるとの發言あり更に配給品の數目を正確にする意味から消費者專用のはかりを備付けるべきだ、列車取締りによる收納の場合に端數を切捨てているという話だがその間の金額はどうなつているか、持込配給を實行すべきである點も強調しまた配給米の値上げで十日分一括受配するのは貧困者にとつて一番悩みでありこれを分割配給も出來るよう取はからつて欲しいとするもの、放出食糧などは一般に食べ方がわからないため消費者も困つているがこうしたものゝ食べ方指導もすべきである

配給業務の延長せよ

鎌田にも新設要望

勞働基準法で配給所員の勤務も同法の規定通り行うのは當然だが所員の交代出勤により配給業務も延長すべきである最近鎌田地方はアパートの外に母子寮も出來急に人口も殖えているから配給所を新設してくれ、米と麥は黑すぎるからどうせ家庭で白くするなら最初から精白にして配給すべきだ、そうすることに依つて粕も多く取れ家畜に廻せるはずだなどの意見開陳があり最後に今後こうした配給懇談會は三ケ月毎に開くことを申合せた

分割配給は認める

投書箱設置等も急速に處理する

公團側の回答

これに對し公團側からそれぞれ回答があり先づ戰災によつて一部配給所が破損されたまゝになつているので今後は消費者本位に順次改善して行くことを述べ係の不親切に對しては近く配給所の營繕が實施になる見込みなのでその際のことも考慮して答本位な運營を實は強調している、使用濟の俵、カマス類はすべて縣の需給協議會指示によつて處理しておりこの間不明朗な點はないと回答、現在の配給によるカロリーについては保健所側からの出席者も資料がないから判らないと答辯出來なかつた周知徹底について最近の入荷がまちまちのため前以つて公表することは難しいが今後は一層各新聞社の協力を求めると共に投書函も急速に設置したいと公團側から表明

消費者專用のはかりは度量衡の不足で實現難しい、列車取締の收納に際し端數を切捨ているのは事務混雜を防ぐためでその差額は保管されており遺失物法によつて近く國庫納入の手續をする考えである點公團側と本田市署長より特に答辯あつたのち市民の要望である持込配給について現在のように不定期的に配給がある場合はなかなか難しく例えば數種類にも及ぶため各家庭から前もつて預る容器の點でも種々難かしいことを述べ更に貧困者に對しては分割配給は勿論認める方針を明らかにした、放出食糧の食べ方指導、配給所員の交替勤務、鎌田の出張所新設はそれぞれ考慮を約した、米は現在七分づきだがこの點は榮養もあることだから我慢して欲しいと回答した

高木市議の發言

奇怪な印象を與う

市署は何故小荷物車取締成績を發表しないでいる

別項の配給懇談會の席上經濟委員會副委員長として出席した高木きよう氏は特に列車取締による收納について發言

唯今鐵道側から私のところへ電話連絡によつて齎らされたのであるが先程からの公團側の答辯は私には納得が行かない、即ち從來列車取締の收納成績は市署より發表されて來たが小荷物車の取締收納については何等市民は發表を受けていないまた公團側の發表したこの數字と鐵道側から私に入つた數字では甚だ開きがあり過ぎる、この間の差額は一体どうしたのか、市署では小荷物車の收納成績を發表すべきだ

と要求これに對し本田署長より「高木氏の指摘されるように數字があいまいであるとか小荷物車の收納は今までも發表していないと云うことはない疑惑の點があるなら何時でもまた數字を發表する」と答辯、更に本田署長より詳細に亘つて說明しようと發言を求めたところ高木氏は「何れそのうち機會もあるだろうからその折に發表して欲しい、私の情報では公團側の云うように四、五百万円位でなく一千万円にも達していると云うことだ」と抑えてこの話は一應打切られたが如何にも公團側と市署との間に丸公事件に似たような不正事實があるかの如き印象を出席者に與えた

公團と鐵道の數字違はぬ

片寄公團支所長談

右について片寄公團支所長は語る

「公團と鐵道側の數字に莫大な差があると云うことだがそんなことはない、某週刊新聞の記者と稱する者が公團に來て高木氏が指摘しているようなことにつき問質しているが我々としてはこの點甚だ明朗である」

高木氏の思違いと思う

本田市署長談

恐らく高木氏は何かの思違いだろうと思う、小荷物車の收納結果を公表していないと云うことだがこれは既に新聞に依つて發表されている、なお念のため繰返してこの數字を發表する

身體障害者 雇用促進

職安所が一日から

平公共職業安定所では九月一日から一週間を身体障害者雇用促進强調週間として各事業場は勿論一般地方民へも次の如く訴えることとなつた

◇盲人に適した職業には家庭教師、音樂教師、タイピスト、研磨工、ラジオ組立工、養鶏、搾乳など五十余種もある◇兩脚のないものにも座業には差支ない◇兩腕のないものも脚の職業には差支ない◇耳の遠いものは他に注意を奪われず仕事に熱中するので却つて良い◇智能の低いものも單調な作業家畜の世話などがある

永遠の處女を誇りに

戀を空に結ぶ乙女

カルモチン 一人心中の女主人公 大島タカ子さんの可憐な純情譜

靑春の血の燃ゆるまゝに家も忘れ學業も放棄、二週間も戀の道行をした揚句、所持金を使い果すと單獨でヒヨツコリと歸宅する十八女學生、はき違えての勇敢さに世の大人たちの目を見張らせている一面にはまだ、文學などに事寄せて胸のうちを語れど、弱い男心に思い余り永遠の處女をせめてもの誇りに、われとわが身を殺して空に戀を結ぶ乙女もある—この娘は去る二十八日朝湯本町八坂神社境内で心の夫と決めた男と遊ぶ中にカルモチンをのみ昏倒、直に湯本診療所で手當を加えたが、翌二十九日午後遂に返らぬ人となつた平市白銀町福島縣選別石炭の事務員仲間町大島タカ子さん（二〇）である—

雨煙る八坂神社背景に

哀れ果敢なく悩みぬいた心の果て

タカ子さんが心に誓つた相手は湯本町櫻木町志賀積善君（二八）だが、この志賀君が涙の中に語るところによると、

二人が相知つたのは昨年十一月友人の選別石炭事務主任松崎一吉君に奬められて全事務所に入つた時であつた、然し文學にあこがれる志賀君は三日間で辭めた、まだ二人の間には何の感情もなかつた、ところが翌十二月志賀君が學生有志とゝもに磐女高でアマチュア演劇團の旗上げにトルストイの復活を公演した、これをみたタカ子さんは初めて乙女心の昂ぶるのを覺えた、志賀君への思慕は文學的人生觀の論議となつて現われた、そして二人の間は急に親密の度を增していつた、然しタカ子さんの戀心を知つた志賀君は度々のタカ子さんの手紙にも返事すら書かず、タカ子さんの心の冷えるのを待つた、ところが去る七月末突如タカ子さんから『ギリシヤ、ローマ神話』の本を貸してくれと賴まれたので、これを事務所に一日届けながらその機會をとらえ友人松崎事務主任を相手に、持前の戀愛否定論を振り廻して、わざとタカ子さんにきこえよがしに戀は人生の墓場と語つた、そのうちいつの間にかタカ子さんの姿は事務所から消えていつた、志賀君はそのまゝ歸つた、これで終れば何事もなかつたのだが、あきらめきれないタカ子さんは以來悶々の日をつづけた揚句、去る二十八日朝雨の降る湯本町の志賀君宅を訪れ、話があるからと誘い出しながら何も語らず秋雨の中を小一時間散歩した、志賀君が休日でもないので歸宅を進めると一度は驛までいつたが、驛につくと急に歸るのはいやだ、どこか山へでも行きましようとの事に志賀君もやむなく、八坂神社に上り町を見下していると、のどが渇いたからチヨツと水をのんで來たとタカ子さんが少しおくれて上つて來て志賀君の傍に寄つたかと思うと昏倒した、驚いた志賀君は即時前記のようにタカ子さんを背負い診療所へかつぎ込んだのであつた

何故素直に打ち明けぬ

涙に祈る志賀君

當の志賀君語り終るとジッと眼を伏せて

タカ子さんの御兩親から娘の純情を高く買つてやつていただきたいといわれましたが、それ程までに何も良いところのない僕を愛して死んでくれるのだつたら一言卒直に正面から堂々眞心をぶち割つて話してくれなかつたのか、ただありふれた乙女の戀心とのみして扱つていたのが殘念です、これからは靜かにタカ子さんの冥福をたゞ祈りましようと亡きタカ子さんの幻をおつていたなおタカ子さんの遺留品の手提げの中には志賀君に借りた神話の本の間に

「自分は疲れきつています、あなたに抱かれて安らかに眠られたらどんなにか幸福でしよう」

との意味の遺書がはさまれていたとのことである

近火御見舞御禮

平市新川町

橋本屋家具店
福本ヌリキ店
山城屋商店
松崎菊三郎
鈴木市三
三富理髪店
千葉タイヤー商會
星野洋服店
新妻正夫
佐藤保吉
好喜屋
緑川疊店
鈴木フヂノ
丹野環
五十嵐雄二
三森己代松
上野サダ
伊藤退之助
國井一美
（順不同）

良品時代來る！
定評ある大塚の運動具を
配給品と自由品の店
平市田町三田小路
大塚運動具店
電話77

近火御見舞御禮
五十嵐產科婦人科醫院
五十嵐雄二
平市新川町二二 電話三六九

眞空管と部品の卸
上原時計店
平驛降リテ左五軒目
電22

健康のモトは
毎月一回清腸日を
1 腸の毒素排除（清腸藥）
2 回虫蟯虫の驅除（虫下シ）
3 レバロン、カルシウムの營養素の補給（ツカレ、ムシワカズ）
日本健民學生師會研究員
國民健康保險藥劑師
公衆衛生師
藥劑師 阿部康雄
阿康藥局
平市田町銀座街

新津式脫穀機
小型籾摺機
單相モーター
製縄機
電動機一式
セメント
瓦 工業
石城郡磐崎村
織内農機店
電話湯本一四八

（平驛下車左大通り角カラ五軒目）
福屋
（前驛シロガネ通り）

キモノと洋服…買入ト販賣

機械工具
ドリル。タップ
ダイス。スパナー
類他各種工具
水道用鉛管入荷
平驛前通白銀町15
高平商會

近火御見舞御禮
平市新川町三三
白寶堂時計店

近火御見舞御禮
國際電球工場火災に際しては早速馳けつけお見舞いを頂きありがとう御座いました
御尊名お伺い洩れもありますから紙上を以てお禮申上げます
平市新川町六番地
常磐鐵工株式會社
常磐石炭助成株式會社
自動車部